



篠田 伸夫
Shinoda Nobuo
博士（心理学）筑波大学

1991年 秋田大学採用講師
1993年 同上 助教授
1997年 福島大学採用助教授

学会活動
情報処理学会
IEEE
産業技術教育学会

社会活動
福島県高度情報化推進連絡協議会電子社会推進部会部会長, 福島市個人情報法保護審議会委員, 福島大学おもしろ科学びっくり箱等

主な担当科目
認知科学概論
コミュニケーション形成論
ほか

主な研究分野

エンド・ユーザ・セキュリティ

情報通信基盤として重要性を増しているインターネットが安定して利用できるようになるためには、セキュリティに対する意識は欠かせないものとなっている。特にブロードバンドに接続された家庭等個人のコンピュータが増加するにつれ、エンド・ユーザのセキュリティ意識がインターネットのセキュリティに直結するようになっている。システム側とエンド・ユーザ側のセキュリティ対策のバランスの取り方について研究している。

情報機器の教育場面への活用

広域定点観測網コンソーシアムの一員として、全国に設置した定点観測装置からインターネット経由で集められた気象データ、定点カメラデータの教育素材としての活用について研究している。主に学習インターフェース、システム構成を担当している。



相談に応じられる分野・テーマ

- ① セキュリティに留意したネットワーク・システムの検討
- ② エンド・ユーザのセキュリティ教育
- ③ 情報機器の教育場面への活用

キーワード

セキュリティ, インターネット, 教育, ユーザ・インターフェース

代表的な業績

インターネットの利用（「基礎情報リテラシー」, 情報リテラシー教育研究会編, 弘学出版）
ホーム・ユーザとビジネス・ユーザのコンピュータ・セキュリティ（「地域からの風」, 下平尾勲編著, 八朔社）